

2019年5月10日

各位

会社名 ブライトパス・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
 (コード番号：4594 東証マザーズ)
問合せ先 管理部長 小林 勝広
 (TEL：03-5840-7697)

ITK-1 及び GRN-1301 プロジェクトに関するお知らせ

当社は、2018年5月17日付で、当社から富士フィルム株式会社（以下、富士フィルム）へ2011年に導出したがんペプチドワクチン ITK-1 の国内第三相臨床試験の結果についてお知らせしておりましたが、この度、導出先の富士フィルムの決定等を踏まえ、開発中止を決定いたしました。

また、同じく2016年12月9日付で神奈川県立病院機構から特許の譲渡を受けて非臨床試験を進めていた肺がん一次治療分子標的薬^{*}に対する耐性変異を抗原とするがんペプチドワクチン GRN-1301 につきましても、同耐性変異を標的とする他社の新規分子標的薬が一次治療適応においても承認されたことに伴い、本新規分子標的薬の市場浸透度と本耐性変異の出現頻度を鑑みたうえでの事業性を慎重に検討してまいりましたが、この度開発中止を決定いたしました。

当社は既存パイプラインの見直しと新規パイプラインの創製を通して、医薬品市場成長を牽引するがん免疫治療薬領域において、最先端のサイエンスを反映した競争力のある開発品への選択と集中が為されたポートフォリオを構築してまいります。なお上記は、本日公表の「2019年3月期決算短信」に反映してまいります。

以上

【語句説明】

※ がんの診断ステージに応じて薬物療法に入ったときに第一選択の標準治療薬となる分子標的薬。